

---

# 東北大学陸上競技部

## OB・OG 通信

2026年 VOL. 1 (2026. 4)

---

・トラックゲームズ in TOKOROZAWA・男子 400m にて岸本醒知(3)が 47.27 で部記録を更新

・金栗記念・男子 1500m にて渡邊優典(4)が 3:45.48 で東北学生記録を更新&全日本 IC の A 標準突破

---

●主将・女子主将・各 PC より今年度及び東北インカレの抱負	-----2~5 ページ
●令和 7 年度三秀総会	-----5 ページ
●令和 7 年度卒業生祝賀会	-----6 ページ
●自己ベスト更新者一覧	-----6~7 ページ
●今後の予定	-----7 ページ
●編集後記	-----7 ページ

---

春暖の候、会員の皆様にはますますのご発展のほどお慶び申し上げます。

今号では、今年度ならびに東北インカレの抱負を中心に活動を報告いたします。今年度も変わらぬご支援を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

## ◎主将・女子主将・各 PC より今年度ならびに東北インカレの抱負

### ◆主将 大泉宥太

2025 年七大戦より主将を務めております、大泉宥太と申します。平素より OBOG の皆様には多大なるご支援、ご声援を賜り、心より感謝申し上げます。

今シーズンは、東北 IC では「打倒仙台大」、七大戦では「七大戦優勝」という目標を掲げ、チーム一同取り組んでおります。

前主将の倉部が達成した東北 IC および七大戦優勝という功績は、我々にとって非常に大きなものであり、「勝負に勝つ」という意識を部員一人ひとりに行き渡らせる良い契機であったと感じています。私が主将に就任して間もなく、全体に向けて「速さではなく強さ」という言葉を何度か発信しました。もちろん、その意識が部内に浸透したのは PC 陣の尽力の賜物ではありますが、やはり倉部の功績は大きく、自分は恵まれた立場にあると何度も感じています。

東北 IC、七大戦連覇という偉業は決して容易に成し遂げられるものではありませんが、我々の代でこそ達成し得る、非常に価値のある目標でもあります。目標達成に向け、部員一同、日々努力を重ねてまいります。

ここまで対校戦について述べてまいりましたが、競技の結果のみならず、OBOG の皆様に応援し、注目していただけるようなチームでありたいというのが、主将としての私の思いです。競技に取り組む姿勢、部員同士の結束を大切に、部員一同の総力戦として、全力で今シーズンを駆け抜けてまいります。

今シーズンも良いご報告ができるよう、チーム一同取り組んでまいります。引き続き、温かいご支援、ご声援のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

### ◆女子主将 喜多和奏

昨年 8 月より女子主将を務めております、喜多和奏です。OBOG の皆様には、日頃より多大なるご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

今シーズン、私たち女子チームは「七大戦女子総合優勝」を目標に掲げ、チーム一丸となって取り組んでいます。

昨年の七大戦では女子総合三位という結果に終わりましたが、優勝まであと一步というところまで迫ることができました。また、昨年活躍した選手の多くが今年もチームに残っており、この経験と戦力を土台として、チーム全体の力をさらに高め、今年こそ確実に結果へとつなげていきたいと考えています。

現在、女子チームは年々人数が増え、選手層も着実に厚くなっています。一方で、七大戦は競技数や出場枠に限られており、全員が正選手として舞台に立てるわけではありません。

さらに、女子は得点が最大 4 点となっており、わずか 1 点の差が対抗順位を大きく左右します。だからこそ、得点を担う選手の力だけで勝ち切ることはできません。日々の練習や試合でチームを支えるマネージャーの存在、正選手の座を懸けて切磋琢磨する仲間の存在など、一人ひとりがそれぞれの立場で役

割を果たすことが不可欠です。そうした積み重ねがチーム全体の力となり、全員で戦う総力戦を体現できてこそ、女子総合優勝に手が届くと考えています。

また、七大戦に至るまでには、東北・北日本インカレや北大戦といった対抗戦が控えています。これらの舞台を、単に個々の競技力を高める機会とするだけでなく、チームとしての結束を深める重要な機会と捉え、一戦一戦を通して個々としても、チームとしても、成長していきます。そして、そうした大会や日々の練習に加え、月例での女子ミーティングや、四継・マイル・駅伝といった少人数で戦うチーム種目への挑戦、選手・マネージャーを問わず参加できるイベントの企画などを通して、互いを知り、支え合える関係性を築いていきます。

シーズンを通して、全員がそれぞれの立場でチームに貢献し、「全員で戦うチーム」を作り上げてまいります。そして、皆様に良いご報告ができるよう、チーム一同精進してまいります。今後ともご指導・ご声援のほど、よろしくお願い申し上げます。

#### ◆短距離 PC 新田琥太郎

昨年8月から短距離 PC を務めております。新田琥太郎です。

今年の短距離パートは、「出場者全員で得点すること」を目標にしています。昨年度は主に 400m で東北インカレ、七大戦ともに多くの得点を取り、総合優勝に貢献しました。ですが、東北インカレでは 100m、200m とともに無得点、七大戦では 100m、200m で得点した選手が一人であり、エースの選手に頼り切ってしまう部分があると考えこの目標を掲げました。

シーズンインでは怪我人が出てしまったものの、3月の時点で部記録更新及び全カレ標準突破を果たした選手がおり、良い流れ自体は来ていると思います。このいい流れに乗り、今シーズンも活躍してまいりますのでご期待ください。

#### ◆ハードル PC 長井颯馬

本年度、ハードルパートは「全員の PB 更新」、そして「七大戦に出場する選手全員の決勝進出」の2点を目標に掲げ、日々の練習に取り組んでいます。昨年度は前任のハードル PC のもと、先輩方をはじめ多くの部員が PB を更新するなど大きな成果を上げました。しかしながら、全員の PB 更新にはあと一歩及ばず、七大戦においても男子 110mH と男子 400mH で多数の決勝進出者を出したものの、全員進出とはなりませんでした。

その反省を踏まえ、今年度は改めて上記の2点を目標に掲げ、より一層の努力を重ねております。すでにシーズンインの段階で PB を出す選手もおり、5月の東北インカレに向けて良い流れができつつあります。この勢いのまま東北インカレ、そして七大戦に果敢に挑み、部全体の目標達成に貢献していく所存です。

また、末筆ではございますが、今年度フレキハードルを購入させていただいたことを改めて御礼申し上げます。これはひとえに OB・OG の皆様からの温かいご支援のおかげであり、充実した環境の中で練習できることに深く感謝しております。今後とも変わらぬご支援、ご声援のほど、よろしくお願い申し上げます。

#### ◆中距離 PC 鈴木朝陽

昨年の12月から中距離PCを務めております、3年の鈴木朝陽です。この場をお借りして、OB・OGの皆様のご支援ご協力に感謝申し上げます。皆様のおかげで私たち部員は、日々充実した活動ができております。

今年度の中距離パートの目標は「全員PB更新」、「東北インカレ、七大戦共に中距離種目総合得点優勝」、「新しい全日本インカレの出場選手を出す」です。昨年は東北インカレ、七大戦共に中距離種目で総合得点優勝となり、部全体での総合得点優勝に貢献することができました。また、他パートや陸上部関係者から中距離パートを非常に応援していただいたと感じる一年でした。昨年を上回る活躍をしたいと考え、今年度の中距離パートの目標を設定しました。正選手として戦う選手は勿論、チーム全体で成長して部全体を盛り上げていけるようなパートを目指しています。

まずは東北インカレに向けて良い流れを作っていきたいと思っております。今年度も目標を達成できるように精進して参りますので、引き続き応援のほどよろしくお願いいたします。

#### ◆長距離 PC 山内滉介

昨年の10月から長距離PCを務めております、3年の山内滉介です。日頃よりOBOGの方々をはじめとした多くの方々からご支援、ご声援を賜り、充実した活動ができております。この場を借りて、心より御礼申し上げます。

今年度の長距離パートの目標は「全日本大学駅伝予選会優勝並びに本戦出場」です。トラックの10000mによる選考に変更された昨年度の予選会では全力を尽くしたものの、東北学院大学に敗れ、2年連続の本戦出場を果たすことはできませんでした。東北地区の予選会のレベルも年々上がっており、例年以上の力をつけて予選会に臨む必要があると感じております。

冬季期間を通じて、主に下級生が力を伸ばし、チームに新しい風をもたらしております。その勢いに、経験豊富な上級生の力を融合させ、チーム一丸となって目標達成ができるように日々の練習や試合に全力で取り組んで参ります。

来る東北インカレにおいては、出場選手が表彰台や入賞争いに絡み、東北大学の連覇に向けて着実に得点を重ねることができると考えております。また、長距離パートは人数が多く、全員が対校戦に出場することは叶いませんが、個々の競技力向上がパート全体の躍進、ひいてはチームの目標達成に繋がります。一人一人ができることに全力で取り組むとともに、自身も貢献できるように一層努力して参ります。

最後になりますが、今後とも変わらぬご支援、ご声援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

#### ◆跳躍 PC 柴田駿吾

跳躍PCを務めさせていただいております。柴田駿吾です。OB・OGの皆様におかれましては日頃より多大なるご支援を賜っておりますことパートを代表して御礼申し上げます。

跳躍パートの今年度の目標は「全員得点関与」、「全員自己ベスト更新」です。これらの目標達成に向けて日々練習に取り組んでおります。

冬季練習は昨年同様、期分けを意識したメニュー作りを意識しました。練習の強度がたりなかったのかもしれませんが、昨シーズン同様、筋肉系のトラブルも少なく冬季練習を終えることが出来ました。

また、今シーズンは昨シーズンよりも全体メニューを量的に増やし、練習効率、チームの一体感を高めることに努めてきました。シーズン中もこの流れを継続しつつ、競技を意識したより強度の高いメニューに取り組んでいき、冬季練習で積み上げてきたものを跳躍につなげていけるようにしていきたいと思っています。

既にシーズンインを迎えた部員もおり、一部の部員は早くもPBを更新するなど良いスタートを切ることが出来ています。本格的なシーズンで全員がこれに続いていけるように自身がパートを先導するという責任感をもって努力して参ります。応援よろしくお願いいたします。

#### ◆投擲 PC 増田併介

投擲 PC を務めています。増田併介です。今年度の投擲パートの目標は「対抗戦において出場する全種目で得点」することです。昨年度から投擲パートはメニューを作り、パート全体の練習量の確保、団結力の増加を行いました。練習メニューはどの種目にも最低限必要なものをバランスよく行い、残りの時間は個人で自分に合った専門的な練習を行っています。また、外部から指導者を呼んだり、東北地区の高校生から社会人まで幅広い年代の競技者を東北大グラウンドに集めたりして、合同練習を行いました。今まで交流が少なかった宮城教育大と仙台大との合同練習も行い始めています。昨年度に引き続き日頃の練習を欠かさず積み重ねてきた投擲パートは昨年より確実に成長しています。

最後になりますが、日ごろから東北大学陸上競技部を応援してくださっている OB・OG の皆様にこの場を借りて感謝を述べさせていただきます。投擲パートのメンバーの活躍はもちろん、私自身も相応しい結果を残せるよう日々の練習に励んで参りますので、応援のほどよろしくお願いいたします。

### ◎令和 7 年度三秀総会(2025/12/7)

開催地:新宿 ビアレストラン ライオン会館

2015 年から東京にて開催されるようになり、2024 年以降は仙台と東京で隔年にて開催されることになりました。2025 年は、2 年ぶりに東京にて開催されました。

村橋幹事長(S58)の開会宣言の後、岩渕会長(S47)が挨拶を述べました。総会は、村橋幹事長が議長を務め、令和 7 年度活動報告、会計報告が行われました。また、令和 8 年度活動計画、予算審議が行われ、承認されました。役員改選では、宮野知生さん(H2)が幹事長補佐と東北支部長の兼任となりました。また、会報「三秀」担当幹事として、熊谷駿さん(H29)、千葉智史さん(H30)が選ばれ、東海支部長が脇田洋平さん(R2)に交代となりました。

総会の後、同会場にて忘年会が行われました。参加者全員から近況報告していただきました。

出席者 (敬称略)

藤田文夫、岩渕明、金尾義則、五十嵐寛、柴田清、泉秀明、大浦譲、渡辺実、大岩章夫、園盛之介、深澤博、服部眞徳、村橋光臣、菊池浩、久保正樹

## ◎令和7年度卒業祝賀会(2026/2/13)

### 開催地:ホテル白萩

この会は平成24年に始まり、現役部員諸君が卒業後に三秀会会員として活躍することを期待して企画しています。三秀会会員が今春学部を卒業する陸上競技部員を招待し、お祝いするという形式で開催しております。

今年は、2026年2月13日(土)に仙台のホテル白萩にて着座形式にて開催されました。参加者は卒業生13名、OB・OG15名、祝意のご寄付を寄せてくださったOB・OGが6名でした。幹事長補佐・東北支部長の宮野知生さん(H2)が司会を務めました。

はじめに、岩渕明会長(S47)が卒業生諸君に祝辞を伝え、続いて石井孝さん(S39)が乾杯の挨拶を発声され開宴となりました。暫く歓談した後、卒業生一人一人が、4年間の競技生活を振り返るとともに、今後の進路および三秀会会員としての抱負を述べてくれました。また、参加したOB・OGにそれぞれご挨拶いただき、村橋幹事長(S58)の手締めにてお開きとなりました。

### 出席者(敬称略)

石井孝、岩渕明、及川拓郎、源栄正人、柴田清、大浦譲、佐藤源之、眞山隆徳、後藤康宏、渡邊朝生、村橋光臣、彦坂幸毅、宮野知生、久保正樹、吉田真人

### 祝意のご寄付(敬称略)

稲見文雄、尾本俊、大原綾、平原千鶴子、伊藤繁和、石原武雄

## ◎自己ベスト更新者一覧(1/1~4/19)

### 男子 100m

倉部彰土(M1) 11.80(-0.2) 学連春季(4/4)

### 男子 200m

岸本醒知(3) 21.59(+1.1) 学連春季(4/5)

稲谷将幸(4) 22.75(+0.5) 学連春季(4/5)

### 男子 400m

岸本醒知(3) 47.27 トラックゲームズ(3/21)

▲部記録更新!!

堀航太郎(3) 49.73 静岡県中部選手権(4/12)

### 男子 800m

金子宙生(2) 1:55.08 宮城県春季(4/19)

瀬尾祐太郎(3) 2:02.74 宮城県春季(4/19)

### 男子 1500m

渡邊優典(4) 3:45.48 金栗記念(4/12)

▲部記録更新!!

渡邊和悠(2) 4:21.53 学連春季(4/4)

### 女子 1500m

越後谷苑葉(3) 5:09.73 学連春季(4/4)

### 男子 3000m

渡邊優典(4) 8:42.88 沖縄県春季(3/7)

### 男子 5000m

出田義貴(3) 14:53.69 宮城県春季(4/18)

小林由輝(M2) 15:18.83 宮城県春季(4/18)

山内滉介(3) 15:24.60 宮城県春季(4/18)

庄司宥紀(3) 16:06.95 学連春季(4/5)

仲神誠輝(2) 16:09.50 学連春季(4/5)

### 男子ハーフマラソン(21.0975km)

出田義貴(3)	67:50	ふかやシティハーフマ ラソン(2/22)
照内優允(4)	68:31	ふかやシティハーフマ ラソン(2/22)
城田健悟(2)	72:28	ふかやシティハーフマ ラソン(2/22)
竹田佳人(4)	73:24	ふかやシティハーフマ ラソン(2/22)
庄司宥紀(3)	75:31	ふかやシティハーフマ ラソン(2/22)

### 女子走幅跳

末岡由衣(4) 4m79(+1.4) 学連春季(4/4)

### 女子円盤投

五嶋理子(3) 35m28 宮城県春季(4/19)

### 男子砲丸投

松下典弘(2) 12m32 宮城県春季(4/18)

### 男子やり投

小田島創太(3) 46m98 学連春季(4/4)

清水颯太(2) 46m80 学連春季(4/4)

### ◎今後の予定

- ・5/29-31 東北インカレ (宮城・キューアンドエースタジアムみやぎ)
- ・6/19-21 北日本インカレ (岩手・ウエスタンデジタルスタジアム北上)
- ・6/27 北大戦 (北海道・岩見沢市東山公園陸上競技場)
- ・7/24-27 七大戦 (福岡・博多の森陸上競技場)

### ◎編集後記

春の暖かさが感じられる季節となり、競技シーズンを迎えました。冬季期間に積み重ねてきた練習の成果を発揮すべく、部員一人ひとりがそれぞれの目標に向かって調整を進めております。今後は東北 IC をはじめとする主要大会が控えており、チームとしての総合力も問われる時期となってまいります。部員一同、日々の練習に一層精進し、三秀会員の皆様に良い結果をご報告できるよう尽力してまいります。

本年度も東北大学陸上競技部への変わらぬご支援、ご声援のほどよろしくお願い申し上げます。

文責 OBOG 通信担当 堀航太郎 編集補助 宮下尚丈、須藤桃由

東北大学陸上競技部三秀会  
〒980-0815 仙台市青葉区花壇 2-1  
東北大学評定河原グラウンド内  
hukumu\_tohoku\_ob2sin@yahoo.co.jp